

# 藤間秋男の 100年企業創りレポート



●今月の経営テーマ “ビジョンの実現に向かって挑戦しよう!”  
 ビジョンの実現に向かって挑戦することで次のようなメリットがあります。  
 ①一歩踏み出す勇気が湧いてきます ②周りからのサポートが得られます  
 ③やるべきことが明確になります ④社内に一体感がうまれます  
 ⑤仕事に対する意欲が高まります

株式会社 日本創造教育研究所「理念と経営」カレンダーより

(1) 昨年2016年1月より マクナドール三法(国民交通番号)がスタートします。ご存知ですか?  
 税金や社会保障手帳とマクナドールの記載が必須となり、その情報を守るために企業が準備しなければならないことがたくさんあります。その準備を今からしておかなくてはなりません。2月12日(木)14:00~TOMAでセミナーを行います。ご出席下さい。

(2) ある人は「人財」に存在しますか?  
 ①人罪 - 人に迷惑をかける人。罪人。  
 ②人存 - 存在しているだけの人。  
 ③人材 - 仕事は、誰かが代わりはいる。  
 ④人財 - 誰にも代えがきかない存在。財源。  
 誰にも代えがきかない存在にありたいです。(比田井和彦)

(3) 「楽しい職場づくり」(船井総合研究所「働き方」)  
 働きかたの改善会社ヨーロッパランキンがNO1なフィンランドの「フェューリス」でした。2年連続でNO1の理由が「楽しい職場づくり」でした。「楽しい」というのは、入社して2年経つと「楽しい」の理由が「成長したり、上達すること」が「楽しい」のである。もっとわかりやすく言えば「チャレンジ」することを「楽しい」と表現しているのである。  
 時代はおもしろさを求め、楽しさを求めているのである。仕事は面白いと社員は自主的に、積極的に取り組む。

自分の意思も言わなければなりません。  
 時代は変化していると言われますが、自分も意識的に変化させたい。人生も仕事も経営も楽しく存続したい。それがいいですね。

(4) 人生は、存続するか自分の思い通りに行かせるか。  
 だが、それは、楽しい人生だけではない。(柳生雄寛)

人が楽しんでいるのは、どういふ時か。実は、思い通りに行かぬ場面と出くわして、それを試行錯誤して乗り越え、時に達成感や味、楽しさや喜びを感じる。思い通りにしたい! という気持ちは大抵、その思いを実現するために試行錯誤している。113113チャレンジすると、人生を楽しむ秘訣があるのです。

TOMAグループも2014年10月から経営理念に「楽しむ」を入れました。TOMAの社員もお客様も楽しんでほしい。そのために今年も皆様が「楽しむ」をテーマに行動していただくことを目指しています。(藤間秋男は毎日7777に楽しんで生きていくのがいいのですか)

「生きているのが楽しくなる15の習慣」(日野原重明)  
 また何でも楽しんでやる習慣をつくること。今日の元気が出る言葉を入れますか。私は  
 ②「良くなる」と思い込む  
 ③新しいことにチャレンジする  
 ⑦出会うと大切にする  
 ⑫楽しみを見いだす  
 ⑭責任は自分の中に求む  
 ⑮やみくもに習慣にとらわれない  
 藤間秋男のこの心かたは、いつも7777に楽しんでいくのがいいです。

(5) 元気の度合。(『日野原重明100歳』より)  
 元気の度合いは、何の気配りかということ、それは代わる

